

平成 20 年

保健福祉年報

(人口動態編)

2 0 0 8

岩手県保健福祉部

本書の利用にあたって

このたび、平成20年保健福祉年報（人口動態編）を発刊することになりました。本書は、本県の出生、死亡、死産、婚姻、離婚などの動向を表したものです。

本書の率算出に用いた人口は、特に明示のない限り、平成20年10月1日推計人口です。

なお、本書の表章記号は次のとおりです。

計数のない場合	—	
計数不明の場合	…	
統計項目のありえない場合	•	
単位の2分の1未満の場合	0.0	0.00

平成22年3月

岩手県保健福祉部保健福祉企画室

平成 20 年

保 健 福 祉 年 報

(人口動態編)

も く じ

用語の解説	1
-------------	---

第 1 編 概 況

第 1 人 口

1 世帯数・人口・人口密度（市町村別）	6
2 年齢階級別人口（市町村別）	8
3 年齢階級別人口の推移	20
4 人口構成図の年次推移	22
5 年齢（3区分）別人口	24

第 2 編 人口動態に関する統計

第 1 人口動態概説

1 出 生	25
2 死 亡	28
3 乳児死亡	32
4 死 産	34
5 周産期死亡	35
6 婚 姻	36
7 離 婚	37
参 照	39

第 2 統 計 表

(総 覧)

第 1 表 人口動態総覧実数及び率（都道府県別）	42
第 2 表 年次別人口動態実数及び率（岩手県）	44
第 3 表 年次別人口動態実数及び率（全 国）	46
第 4 表 年次別人口動態実数及び率（保健所別）	48
第 5 表 人口動態実数及び率（市町村別）	52

(出 生)

第 6 表 出生数（性・出生時体重・平均体重・市町村別）	60
------------------------------------	----

第7表	出生数、性・出生時身長・平均身長・市町村別	66
第8表	出生数及び率（15歳～49歳女子人口千対）（年次・出産順位別）	70
第9表	出生数（性・母の年齢（5歳階級）・市町村別）	72
第10表	出生数（性・母の年齢（5歳階級）・出産順位別）	76
第11表	出生数（性・出産順位・市町村別）	78
第12表	出生数（出産の場所・出産時の立会者・市町村別）	82
第13表	出生数（性・月・市町村別）	84
	（死 亡）	
第14表	死亡数及び率（人口10万対）（主な死因・年次別）	88
第15表	死亡数（性・月・市町村別）	90
第16表	死亡数（年齢（5歳階級）・性・市町村別）	94
第17表	死亡数（性・死亡の場所・市町村別）	100
第18表	死亡数（性・月・死因分類別）	104
第19表	死亡数（性・年齢（5歳階級）・死因分類別）	114
第20表	死亡数（性・死因分類・保健所別）	126
第21表	死亡数及び率（人口10万対）（性・年齢（5歳階級）・選択死因分類別）	132
第22表	死亡数及び率（人口10万対）（性・選択死因分類・市町村別）	136
第23表	死亡数（主な死因・性・年齢（5歳階級）・保健所別）	164
第24表	死亡数（性・死亡の場所・死因分類別）	188
第25表	死亡数（選択死因分類・世帯の主な仕事別）	194
	（乳児死亡）	
第26表	乳児死亡数（性・月・市町村別）	196
第27表	新生児死亡数（性・月・市町村別）	200
第28表	乳児死亡数（性・日齢一月齢・市町村別）	204
第29表	乳児死亡数（性・月・死因（乳児死因分類）別）	208
第30表	乳児死亡数（性・死因（乳児死因分類）・市町村別）	210
第31表	乳児死亡数（性・主な死因（乳児死因分類）・死亡の場所別）	218
第32表	新生児死亡数（性・主な死因（乳児死因分類）・死亡の場所別）	218
第33表	乳児死亡率・新生児死亡率及び α 指数（保健所別）	220
	（死 産）	
第34表	死産数及び率（出産千対）（自然－人工・保健所別）	221
第35表	死産数（妊娠週数・自然－人工・市町村別）	222
	（周産期死亡）	
第36表	周産期死亡数及び率（出生千対）（市町村別）	224
第37表	周産期死亡数（死因（児側病態）・市町村別）	226

第38表 周産期死亡数（児側病態・母側病態別） （婚姻・離婚）	230
第39表 婚姻件数（届出月・市町村別）	232
第40表 婚姻件数（初婚・再婚・市町村別）	234
第41表 婚姻の種類別婚姻件数・平均年齢（市町村別）	236
第42表 婚姻件数（夫妻の年齢階級・婚姻の種類別）	238
第43表 離婚件数（届出月・市町村別）	240
第44表 離婚件数（同居をやめたときの夫妻の年齢階級・同居期間別）	242

付 表

第1表 市町村別粗死亡率、標準化死亡比（SMR）及び年齢調整死亡率	246
第1図 総死亡（市町村別）標準化死亡比	250
第2図 悪性新生物（市町村別）標準化死亡比	250
第3図 心疾患（市町村別）標準化死亡比	251
第4図 脳血管疾患（市町村別）標準化死亡比	251

調査票の種類及び調査の項目

1 人口動態調査出生票	254
2 人口動態調査死亡票	255
3 人口動態調査死産票	256
4 人口動態調査婚姻票	257
5 人口動態調査離婚票	258

用語の解説

1 用語の解説

自然増加 出生数から死亡数を減じたものをいう。

乳児死亡 生後1年未満の死亡をいう。

新生児死亡 生後4週未満の死亡をいう。

早期新生児死亡 生後1週未満の死亡をいう。

死産 妊娠満12週（妊娠第4月）以後の死児の出産をいう。

周産期死亡 平成6年までは妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものをいい、平成7年からは妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものをいう。

2 比率の解説

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{年間乳児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{新生児死亡率} = \frac{\text{年間新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{年間死産数}}{\text{年間出産数}} \times 1,000$$

注) 出産数とは、出生数と死産数の合計をいう。

平成6年までは

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

平成7年からは

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{年間出生数} + \text{年間満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{早期新生児死亡率} = \frac{\text{年間早期新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{婚姻率} = \frac{\text{年間婚姻届出件数}}{\text{10月1日現在人口}} \times 1,000$$

$$\text{離婚率} = \frac{\text{年間離婚届出件数}}{\text{10月1日現在人口}} \times 1,000$$

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\}$$

15歳から49歳までの合計

$$\text{標準化死亡比 (SMR)} = \frac{D}{\sum (P_i \times d_i)} \times 100$$

D ; 当該市町村の死亡数（当該年を含む過去5年間の平均値）

d_i ; 全国の年齢階級別死亡率

P_i ; 当該市町村5歳階級別人口（10月1日現在）

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{\left\{ \left[\begin{array}{c} \text{観察集団の各年齢} \\ \text{(年齢階級)の死亡率} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{c} \text{全国のその年齢} \\ \text{(年齢階級)の人口} \end{array} \right] \right\} \text{の各年齢 (年齢階級)の総和}}{\text{昭和60年モデル人口集団の総数}} \times 100,000$$

$$\text{訂正 P.M.I} = \frac{\left(\begin{array}{c} \text{観察集団の50歳以上} \\ \text{死亡率} \end{array} \times \text{全国の50歳以上人口} \right)}{\left(\begin{array}{c} \text{観察集団の50歳} \\ \text{以上死亡率} \end{array} \times \text{全国の50歳} \right.} + \frac{\left(\begin{array}{c} \text{観察集団の50歳} \\ \text{未満死亡率} \end{array} \times \text{全国の50歳} \right.}{\left. \text{未満人口} \right)}$$

$$\text{訂正 Life lost (寿命損失率)} = \frac{\sum \left\{ \left(\begin{array}{c} \text{観察集団の} \\ \text{X歳死亡率} \end{array} \right) \times \left(\begin{array}{c} \text{全国の} \\ \text{X歳人口} \end{array} \right) \times (82.5 - x) \right\}}{\text{全国人口 (10月1日現在)}}$$

3 死因分類の解説

(1) 沿革

死因統計は、その目的上、国際間の比較が要求されており、このため、1900年第1回国際会議で国際的に統一された死因分類が作成された。その後、約10年ごとに改正され、今日にいたっている。

本書で使用されている死因分類は、1990年の第10回修正の分類(ICD-10)で、日本では平成7年(1995)から適用されている。

(2) 分類表

死因統計のおもな分類表は、次のとおりである。

ア 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表

日本では、国際の分類にさらに細分項を加えている。人口動態統計用としては、これにさらに若干の細分項を加え、目的に応じて数種の分類表を用いている。

イ 死因分類表及び選択死因分類表

日本では国際の死因分類表を若干修正したものを用いることとしている。

人口動態統計用としては、これに更に細分項を加えたものを使用している。

また、死因分類表なかでも社会的と関心の高い死因について選択死因分類表も作成している。

ウ 乳児死因分類表

乳児死因の特殊性に鑑み、人口動態統計用に乳児死因分類表を作成し使用している。表は「Ba01からBa56」までの分類となっている。

エ 周産期死亡及び死産の分類

周産期死亡及び死産の分類は、独自の分類表が設けられていないため、ICD-9以降、死因基本分類表を使用している。

母側病態：死因基本分類表のP00-P04、P99(母体原因なし)を使用する。

児側病態：上記以外の基本分類コードを使用するが、「X VI章 周産期に発生した病態」、「X VII章 先天奇形、変形および染色体異常」にその大部分が含まれる。

(基本分類表(抄))

死因基本分類コード	死 因	死因基本分類コード	死 因
第 I 章 感染症及び寄生虫症			
腸管感染症 (A00-A09)			
A00	コレラ	A06.3	腸管アメーバ肉芽腫
A00.0	コレラ菌によるコレラ	A06.4	アメーバ性肝膿瘍
A00.1	エルトルコレラ菌によるコレラ	A06.5†	アメーバ性肺膿瘍
A00.9	コレラ, 詳細不明	A06.6†	アメーバ性脳膿瘍
A01	腸チフス及びパラチフス	A06.7	皮膚アメーバ症
A01.0	腸チフス	A06.8	その他の部位のアメーバ感染症
A01.1	パラチフスA	A06.9	アメーバ症, 詳細不明
A01.2	パラチフスB	A07	その他の原虫性腸疾患
A01.3	パラチフスC	A07.0	バランチジウム症
A01.4	パラチフス, 詳細不明	A07.1	ジアルジア症 [ランブル鞭毛虫症]
A02	その他のサルモネラ感染症	A07.2	クリプトスポリジウム症
A02.0	サルモネラ腸炎	A07.3	イソスポラ症
A02.1	サルモネラ敗血症	A07.8	その他の明示された原虫性腸疾患
A02.2	局所的サルモネラ感染症	A07.9	原虫性腸疾患, 詳細不明
A02.2A	サルモネラ髄膜炎	A08	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症
A02.2B	その他	A08.0	ロタウイルス性腸炎
A02.8	その他の明示されたサルモネラ感染症	A08.1	ノーウォーク様ウイルスによる急性胃腸症
A02.9	サルモネラ感染症, 詳細不明	A08.2	アデノウイルス性腸炎
A03	細菌性赤痢	A08.3	その他のウイルス性腸炎
A03.0	志賀菌による細菌性赤痢	A08.4	ウイルス性腸管感染症, 詳細不明
A03.1	フレクスナー菌による細菌性赤痢	A08.5	その他明示された腸管感染症
A03.2	ボイド菌による細菌性赤痢	A08.5a	伝染性下痢症
A03.3	ソルネ菌による細菌性赤痢	A08.5b	その他
A03.8	その他の細菌性赤痢	A09	感染症と推定される下痢及び胃腸炎
A03.9	細菌性赤痢, 詳細不明		
A04	その他の細菌性腸管感染症	結 核 (A15-A19)	
		A15	呼吸器結核, 細菌学的又は組織学的に確認されたもの
		A15.0	肺結核, 培養の有無にかかわらず喀痰鏡検により確認されたもの
		A15.1	肺結核, 培養のみにより確認されたもの
		A15.2	肺結核, 組織学的に確認されたもの

死 因 分 類 表

死因分類コード	死 因	基本分類コード	死因分類コード	死 因	基本分類コード
01000	感染症及び寄生虫症	A00-B99	09206	不整脈及び伝導障害	I44-I49
01100	腸管感染症	A00-A09	09207	心不全	I50
01200	結核	A15-A19	09208	その他の心疾病	I01-I02.0,I27,I30-I33, I40-I41,I51-I52
01201	呼吸器結核	A15-A16			I60-I69
01202	その他の結核	A17-A19	09300	脳血管疾患	I60,I69.0
01300	敗血症	A40-A41	09301	くも膜下出血	I61,I69.1
01400	ウイルス肝炎	B15-B19	09302	脳内出血	I63,I69.3
01401	B型ウイルス肝炎	B16-B17.0,B18.0-B18.1	09303	脳梗塞	I60-I69の残り
01402	C型ウイルス肝炎	B17.1,B18.2	09304	その他の脳血管疾病	I71
01403	その他のウイルス肝炎	B15-B19の残り	09400	大動脈瘤及び解離	I00-I99の残り
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病	B20-B24	09500	その他の循環器系の疾患	J00-J99
01600	その他の感染症及び寄生虫	A00-B99の残り	10000	呼吸器系の疾患	J10-J11
02000	新生物	C00-D48	10100	インフルエンザ	J12-J18
02100	悪性新生物	C00-C97	10200	肺炎	J20
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	C00-C14	10300	急性気管支炎	J41-J44
02102	食道の悪性新生物	C15	10400	慢性閉塞性肺疾患	J45-J46
02103	胃の悪性新生物	C16	10500	喘息	J00-J99の残り
02104	結腸の悪性新生物	C18	10600	その他の呼吸器系の疾患	K00-K93
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	C19-C20	11000	消化器系の疾患	K25-K27
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	C22	11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	K40-K46,K56
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	C23-C24	11200	ヘルニア及び腸閉塞	K70-K77
02108	膵の悪性新生物	C25	11300	肝疾患	K74.3-K74.6
02109	喉頭の悪性新生物	C32	11301	肝梗変（アルコール性を除く）	K70-K77の残り
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物	C33-C34	11302	その他の肝疾患	K00-K93の残り
02111	皮膚の悪性新生物	C43-C44	11400	その他の消化器系の疾患	L00-L99
02112	乳房の悪性新生物	C50	12000	皮膚及び皮下組織の疾患	M00-M99
02113	子宮の悪性新生物	C53-C55	13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	N00-N99
02114	卵巣の悪性新生物	C56	14000	尿路性器系の疾患	N00-N16
02115	前立線の悪性新生物	C61	14100	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	N17-N19
02116	膀胱の悪性新生物	C67	14200	腎不全	N17
02117	中枢神経系の悪性新生物	C70-C72,C75.1-C75.3	14201	急性腎不全	N18
02118	悪性リンパ腫	C81-C85	14202	慢性腎不全	N19
02119	白血病	C91-C95	14203	詳細不明の腎不全	N00-N99の残り
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	C88-C90,C96	14300	その他の尿路性器系の疾患	O00-O99
02121	その他の悪性新生物	C00-C97の残り	15000	妊娠、分娩及び産じょく	P00-P96
02200	その他の新生物	D00-D48	16000	周産期に発生した病態	P05-P08
02201	中枢神経系のその他の新生物	D32-D33,D35.2-D35.4, D42-D43,D44.3-D44.5	16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	P10-P15
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	D00-D48の残り	16200	出産外傷	P20-P29
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	D50-D89	16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	P35-P39
03100	貧血	D50-D64	16600	周産期に特異的な感染症	P50-P61
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	D65-D89	17000	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	P00-P96の残り
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	E00-E90	17100	その他の周産期に発生した病態	Q00-Q99
04100	糖尿病	E10-E14	17200	先天奇形、変形及び染色体異常	Q00-Q07
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	E00-E90の残り	17201	神経系の先天奇形	Q20-Q28
05000	精神及び行動の障害	F00-F99	17202	循環器系の先天奇形	Q20-Q24
05100	血管性及び詳細不明の痴呆	F01-F03	17203	心臓の先天奇形	Q25-Q28
05200	その他の精神及び行動の障害	F00-F99の残り	17300	その他の循環器系の先天奇形	Q35-Q45
06000	神経系の疾患	G00-G99	17400	消化器系の先天奇形	Q00-Q89の残り
06100	髄膜炎	G00-G03	17500	その他の先天奇形及び変形	Q90-Q99
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	G12	18000	染色体異常、他に分類されないもの	R00-R99
06300	パーキンソン病	G20	18100	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R54
06400	アルツハイマー病	G30	18200	老衰	R54
06500	その他の神経系の疾患	G00-G99の残り	18300	乳幼児突然死症候群	R95
07000	眼及び付属器の疾患	H00-H59		その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99の残り
08000	耳及び乳様突起の疾患	H60-H95	20000	傷病及び死亡の外因	V01-Y89
09000	循環器系の疾患	I00-I99	20100	不慮の事故	V01-Y59
09100	高血圧性疾患	I10-I15	20101	交通事故	V01-Y99
09101	高血圧性疾患及び心腎疾患	I11,I13	20102	転倒・転落	W00-W19
09102	その他の高血圧性疾患	I10,I12,I15	20103	不慮の溺死及び溺水	W65-W74
09200	心疾患（高血圧性を除く）	I01-I02.0,I05-I09,I20-I25, I27,I30-I32	20104	不慮の窒息	W75-W84
09201	慢性リウマチ性心疾患	I05-I09	20105	煙、火及び火災への曝露	X00-X09
09202	急性心筋梗塞	I21-I22	20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	X40-X49
09203	その他の虚血性心疾患	I20,I23-I25	20107	その他の不慮の事故	W00-X59の残り
09204	慢性非リウマチ性心内臓疾患	I34-I39	20200	自殺	X60-X84
09205	心筋症	I42-I43	20300	他殺	X85-Y09
			20400	その他の外因	Y10-Y89

(注) これらの分類を精神保健の分野で使用する場合は、「精神及び行動の障害」を「精神疾患」と読み替えて使用することができる。

選択死因分類表

選択死因 分類コード	死 因	死因分類 コード	基本分類コード	選択死因 分類コード	死 因	死因分類 コード	基本分類コード
Se 01	結核	01200	A15-A19		(再掲)		
Se 02	悪性新生物 (再掲)	02100	C00-C97	Se 17	急性心筋梗塞	09202	I21-I22
Se 03	食道の悪性新生物	02102	C15	Se 18	その他の虚血性心疾患	09203	I20,I23-I25
Se 04	胃の悪性新生物	02103	C16	Se 19	不整脈及び伝導障害	09206	I44-I49
Se 05	結腸の悪性新生物	02104	C18	Se 20	心不全	09207	I50
Se 06	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	02105	C19-C20	Se 21	脳血管疾患 (再掲)	09300	I60-I69
Sr 07	肝及び肝内胆管の悪性新 生物	02106	C22	Se 22	くも膜下出血	09301	I60,I69.0
Se 08	胆のう及びその他の胆道 の悪性新生物	02107	C23-C24	Se 23	脳内出血	09302	I61,I69.1
Se 09	膵の悪性新生物	02108	C25	Se 24	脳梗塞	09303	I63,I69.3
Se 10	気管、気管支及び肺の悪 性新生物	02110	C33-C34	Se 25	大動脈瘤及び解離	09400	I71
Se 11	乳房の悪性新生物	02112	C50	Se 26	肺炎	10200	J12-J18
Se 12	子宮の悪性新生物	02113	C53-C55	Se 27	慢性閉塞性肺疾患	10400	J41-J44
Se 13	白血病	02119	C91-C95	Se 28	喘息	10500	J45-J46
Se 14	糖尿病	04100	E10-E14	Se 29	肝疾患	11300	K70-K77
Se 15	高血圧性疾患	09100	I10-I15	Se 30	腎不全	14200	N17-N19
Se 16	心疾患(高血圧性を除く)	09200	I01-I02.0,I05-I09, I20-I25,I25,I30-I52	Se 31	老衰	18100	R54
				Se 32	不慮の事故 (再掲)	20100	V01-X59
				Se 33	交通事故	20101	V01-V99
				Se 34	自殺	20200	X60-X84

乳児死因分類表

乳児死因 分類コード	死 因	基本分類コード	乳児死因 分類コード	死 因	基本分類コード
Ba 01	腸管感染症	A00-A09	Ba 30	その他の周産期に特異的な呼吸障害及 び心血管障害	P20-P29の残り
Ba 02	敗血症	A40-A41	Ba 31	新生児の細菌性敗血症	P36
Ba 03	麻疹	B05	Ba 32	その他の周産期に特異的な感染症	P35-P39
Ba 04	ウイルス肝炎	B15-B19	Ba 33	胎児及び新生児の出血性障害及び血液 障害	P50-P61
Ba 05	その他の感染症及び寄生虫症	A00-B99の残り	Ba 34	その他の周産期に発生した病態	P00-P96の残り
Ba 06	悪性新生物	C00-C97	Ba 35	先天奇形、変形及び染色体異常	Q00-Q99
Ba 07	白血病	C91-C95	Ba 36	神経系の先天奇形	Q00-Q07
Ba 08	その他の悪性新生物	C00-C97の残り	Ba 37	心臓の先天奇形	Q20-Q24
Ba 09	その他の新生物	D00-D48	Ba 38	その他の循環器系の先天奇形	Q25-Q28
Ba 10	栄養失調症及びその他の栄養欠乏症	E40-E64	Ba 39	呼吸器系の先天奇形	Q30-Q34
Ba 11	代謝障害	E70-E90	Ba 40	消化器系の先天奇形	Q35-Q45
Ba 12	髄膜炎	G00-G03	Ba 41	筋骨格系の先天奇形及び変形	Q65-Q79
Ba 13	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	G12	Ba 42	その他の先天奇形及び変形	Q00-Q89の残り
Ba 14	脳性麻痺	G80	Ba 43	染色体異常、他に分類されないもの	Q90-Q99
Ba 15	心疾患(高血圧性を除く)	I01-I02.0,I05-I09, I20-I25,I27,I30-I52	Ba 44	乳幼児突然死症候群	R95
Ba 16	脳血管疾患	I60-I69	Ba 45	その他のすべての疾患	D50-N99,R00-R99の残り
Ba 17	インフルエンザ	J10-J11	Ba 46	不慮の事故	V01-X59
Ba 18	肺炎	J12-J18	Ba 47	交通事故	V01-V99
Ba 19	喘息	J45-J46	Ba 48	転倒・転落	W00-W19
Ba 20	ヘルニア及び腸閉塞	K40-K46,K56	Ba 49	不慮の溺死及び溺水	W65-W74
Ba 21	肝疾患	K70-K77	Ba 50	胃内容物の誤えん及び気道閉塞を生じ た食物等の誤えん〈吸引〉	W78-W80
Ba 22	腎不全	N17-N19	Ba 51	その他の不慮の窒息	W75-W84の残り
Ba 23	周産期に発生した病態	P00-P96	Ba 52	煙、火及び火災への曝露	X00-X09
Be 24	妊娠期間及び胎児発育に関する障害	P05-P08	Ba 53	有害物質により不慮の中毒及び有害物 質への曝露	X40-X49
Ba 25	出産外傷	P10-P15	Ba 54	その他の不慮の事故	W00-X59の残り
Ba 26	出生時仮死	P21	Ba 55	他殺	X85-Y09
Ba 27	新生児の呼吸窮〈促〉迫	P22	Ba 56	その他の外因	Y10-Y89
Ba 28	周産期に発生した肺出血	P26			
Ba 29	周産期に発生した心血管障害	P29			

(注) 「敗血症」には、「新生児の細菌性敗血症」を含まない。